

米沢興議館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール



本校のSSH計画の1つに「将来、ノーベル賞受賞を嘱望されるような卓越研究者（サイエンスイノベーター）の素養を育む研究」がある。この達成のためには、実際にノーベル賞受賞者と本校生徒とを引き合わせ、そのロールモデルを示してやるのが、最も効果的だと考えられる。今回、本校のSSH運営指導委員である山形大学の城戸淳二教授のコーディネートにより、2000年ノーベル化学賞を受賞された筑波大学名誉教授の白川英樹先生をお招きすることができた。

「私の歩んだ道、導電性高分子の発見、セレンディピティを知っていますか」と題し、御自身の高校生時代の話等も含めながら、学ぶことの大切さや面白さを生徒に分かりやすく伝えていただいた。この講演会を通し、本校生徒はどのよう受け止め、今後活かしていきたいと考えただろうか。生徒の感想で本講演会を振り返りたい。



筑波大学名誉教授 白川 英樹 先生の略歴

- 1966年 東京工業大学院理工学部研究科 化学工学専攻科博士課程修了
- 1976年 ペンシルベニア大学博士研究員
- 1979年 筑波大学助教授
- 1982年 同大学教授
- 2000年 同大学退官、高分子化学功績賞、ノーベル化学賞、文化功労者および文化勲章
- 2001年 日本化学会特別顕彰 等

ノーベル賞受賞者によるSSH講演会

SSH講演会をつけて3年理科男子生徒（米沢一中出身）私はこの度、日本の最も偉大な科学者の一人である白川英樹先生の御講演を拝聴できたことを本当に嬉しく思います。白川先生は御講演の中でセレンディピティを見逃さないように、つまり好奇心と洞察力を深め、偶然との出会いを大切にしたいと仰っていたと解釈しました。

私は来年度から大学という新たなステージに立とうとしています。これからより一層科学に携わっていく身として非常に大切な指針を示して頂いたように思います。今回のご講演も偶々までお聞きすることが出来た、のではなく、是非これをきっかけに今後の人生をより豊かなものにしていけたらと思います。



城戸淳二塾「ノーベル賞受賞者との座談会」

2年普通科男子生徒（川西中出身）私たちがコアスーパーサイエンスクラブ2年生8名は、SSH講演会のあとに城戸淳二塾の塾長ゼミの一環として、講演会の講師でありノーベル賞を受賞された白川英樹先生との座談会に参加させていただきました。本来であれば白川先生の御講演を拝聴できるだけでも貴重なのに、実際に会話をさせていただけるということで、会談前、とても緊張したのを覚えています。その中で白川先生は家庭菜園を行っているとおっしゃっていました。それを伺って思わずノーベル賞受賞者の白川先生に対し、そんなに遠い存在ではないのかなと感じてしまいました。そのくらい気さくにお話しかけていただいたということだと思います。

また、白川先生はサインを書かないと決めているとのこと。このお話しには先生の謙虚な姿勢が窺えました。私はそのようなお気持ちやお人柄に敬意をおぼえ、今後の自分の人生・生き方に大きな影響を与えてくださったように感じます。

このような機会を与えていただいたことに対し、塾長の城戸先生をはじめ、関係の方々深く感謝したいと思います。

028 山形県立米沢興議館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 TEL 0238-38-4741（代表）

